

少子高齢化や過疎化など、地域や日本国内の問題。温暖化やエネルギーなどの、地球規模の問題。

様々な問題が深刻化する現代社会において、その解決を、公的機関や関連団体だけに託すのではなく、様々な企業が、自社の事業拡大に加えて、持続可能な社会の構築に貢献することが責務となっています。

近年、このような問題に対する関心は、企業や自治体、個人の間でも広がっています。内閣府の調査によると、ボランティア活動の経験がない人が8割にのぼるにも関わらず、6割以上の方が、「社会貢献をしたい」と回答しているように、その関心度の高さが伺えます。

エヌティーティーデータは、様々な社会課題を身近な問題として捉え、自分の街を舞台に、日々の暮らしでできる貢献活動を、簡単に始められるサービスを開発しました。

名前は、フォワード。

自分たちを取り巻く世界のために、個人が、自治体が、企業ができることを、後押しするスマートフォンアプリです。

人とまちと社会。それぞれが直面する様々な問題を、テクノロジーの力を使って、個人をつなぎ、関係性を生み出し、解決へ導きます。

フォワードの基本機能は大きく4つ。

課題解決に貢献できる方法＝クエスト、を見つける。

クエストに参加して、行動する。

行動した結果が可視化されて、記録される。

クエストに参加した人同士がつながり、

応援するコミュニティを支援する。

フォワードは、こんな人たちに使われています。

住んでいる街をもっと暮らしやすくしたい住民に。

まだ知られていない街の魅力を発見して発信したり、日々の生活でできる活動を可視化したり。街が抱える課題を、住民みんなで解決する仕組みを提供することで、街への愛を高めながら、その魅力を発見・発信します。

チーム愛で地域・環境貢献したいプロスポーツのファンに。

試合当日はもちろん、試合がない日でも、好きなチームを応援しながら、地域にも貢献できます。チームにとっては、ファンとの地域・環境への貢献自体がピーアールになり、同じ志を持った企業や自治体との仲間づくりにつながります。

会社全体でサステナブル活動を推進したい企業の社員に。

大きな会社になるほど、誰がいつどこでどんな活動をしたか、わかりづらいもの。一人ひとりの活動が可視化され、貢献度を実感して、モチベーション向上につながります。企業にとっては、新しいピーアールとして活用できるのはもちろん、業務以外での社員の交流を創出して、積極的なサステナブルアクションにつなげます。

社会課題の解決は、様々なステークホルダーが参画して達成できるものです。

今後は、従来個々で動いていたものを、それぞれが強みを活かしながら、同じ目標に向かって取り組む場所としてサービスを拡張します。

企業間・ユーザー間のシナジーの創出による、貢献の輪の拡大と事業成長も含めたサステナブルな活動に繋がります。

さらに、先端技術を活用して、コミュニティ内での交流の活性化や、コミュニティを越えての交流、コミュニティが、自律的・持続的に活動できるような仕組みを実装して、生活者主体のサステナブルアクションの環境を構築します。

今、この瞬間も、世界は目まぐるしい変化を続けています。解決しなければいけない社会課題は山積しています。

私たちエヌティーティーデータは、フォワードを通じて、自分の関わる街を舞台に、今この瞬間から始められることを、そして、それが毎日続けられるように、サステナブルなアクションを後押しします。

参加するすべての人に新たな価値を提供し、「価値の循環」を確立して、課題解決を進めます。

フォワードの挑戦は続きます。